

(3) 生態系の状況

1) 環境類型区分

既存資料の植生区分をもとに自然環境の類型区分を実施し、地域を特徴づける生態系を整理した。地域を特徴づける生態系と植生区分の概要を表 4.1-75、環境類型区分図を図 4.1-39 に示す。

調査区域の環境類型区分は、農地や市街地が広く占めており、西側に森林や草地が点在している。

なお、環境類型区分の植物相の振分けは、植生自然度を参考に以下のとおり分類した。

- ・森 林：自然林、二次林（自然林に近いもの）、二次林、植林地
- ・草 地：自然草原、牧草地、二次草原等
- ・河 辺・溪 畔：高層湿原、低層湿原
- ・農 地：樹園地、水田・畑
- ・造 成 地 等：市街地、造成地等
- ・河川・水域等：開放水域

表 4.1-75 地域を特徴づける生態系と植生区分の概要

地域を特徴づける生態系 (環境類型区分)	主な地形	植生区分
森林	丘陵地 台地	カナメモチーコジイ群集※、ヤブコウジースダジイ群集、ヤナギ高木群落（V I）、シイ・カシ二次林、ケネザサーコナラ群集、アカメガシワーカラスザンショウ群落、ムクノキ群落、モチツツジアカマツ群集、スギ・ヒノキ・サワラ植林、クロマツ植林、ニセアカシア群落、その他植林（常緑広葉樹）、竹林、残存・植栽樹群地
草地	台地 低地	ススキ群団、砂丘植生、ゴルフ場・芝地、牧草地、路傍・空地雑草群落
河辺・溪畔	低地	ヤナギ低木群落（V I）、ヨシクラス、ツルヨシ群集、オギ群集、ヒルムシロクラス
農地	台地 低地	放棄水田雑草群落、果樹園、茶畑、常緑果樹園、放棄畑雑草群落、畑雑草群落、水田雑草群落
造成地等	低地	市街地、緑の多い住宅地、残存・植栽樹群をもった公園、墓地等、工場地帯、造成地、自然裸地
河川・水域等	低地	開放水域

注）表中の※はツブラジイの別名を示す。

出典：「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(環境省生物多様性センターHP、令和7年5月閲覧)

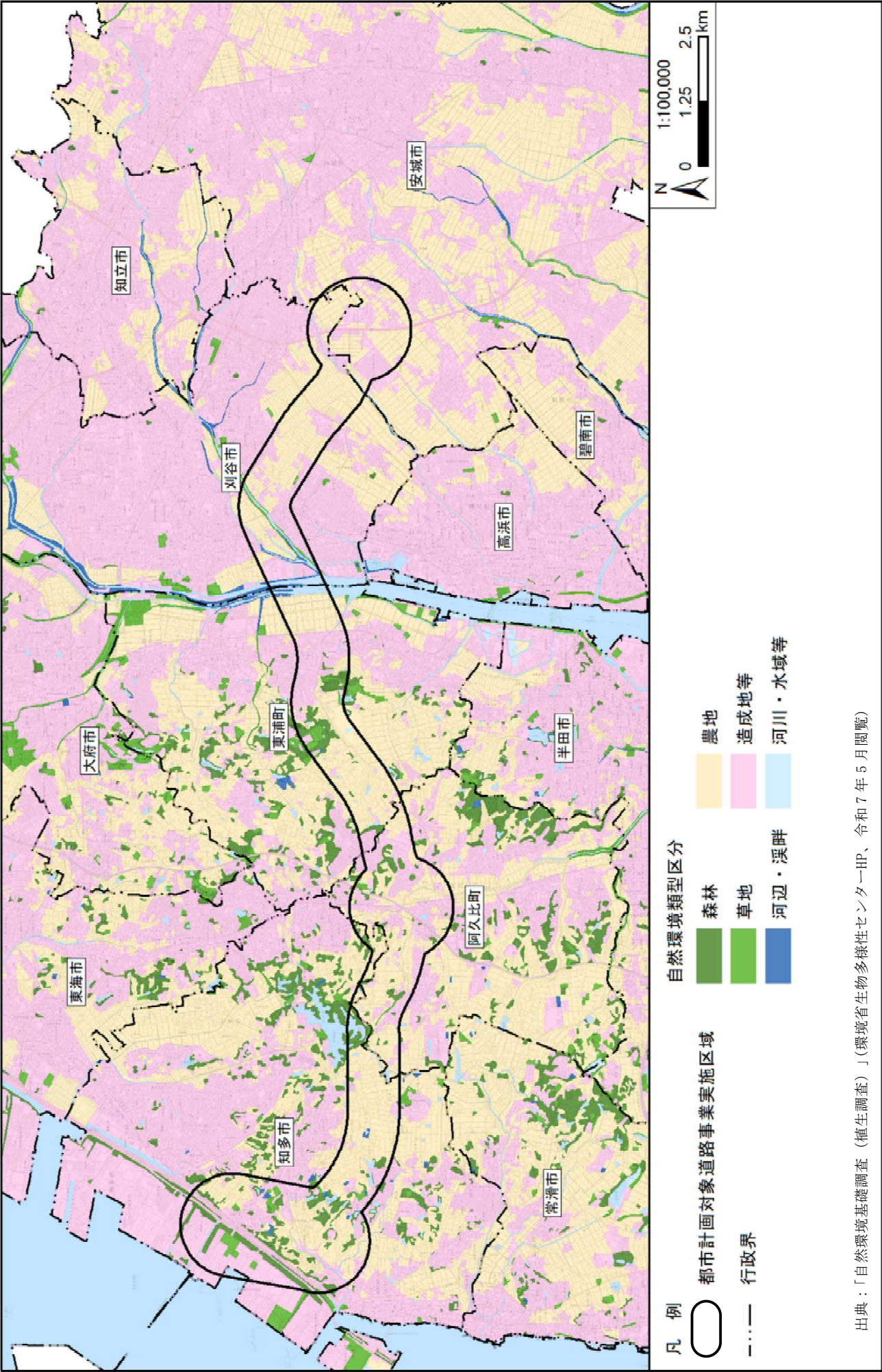


図 4.1-39 自然環境類型区分図

2) 生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境

調査区域における生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境は、表 4.1-76 に示す基準で選定した。

表 4.1-76 生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境の選定基準

分類 番号	名称	カテゴリ
①	『特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(ラムサール条約)』 (昭和 55 年 条約第 28 号)に基づく重要な湿地	基準 1: 特定の生物地理区内で代表的、希少、または固有の湿地タイプを含む湿地 基準 2: 絶滅のおそれのある種や群集を支えている湿地 基準 3: 特定の生物地理区における生物多様性の維持に重要な動植物を支えている湿地 基準 4: 動植物のライフサイクルの重要な段階を支えている湿地。または悪条件の期間中に動植物の避難場所となる湿地 基準 5: 定期的に 2 万羽以上の水鳥を支えている湿地 基準 6: 水鳥の 1 種または 1 亜種の個体群の個体数の 1% 以上を定期的に支えている湿地 基準 7: 固有な魚類の亜種、種、科、魚類の生活史の諸段階、種間相互作用、湿地の価値を代表するような個体群の相当な割合を支えており、それによって世界の生物多様性に貢献している湿地 基準 8: 魚類の食物源、産卵場、稚魚の生息場として重要な湿地。あるいは湿地内外の漁業資源の重要な回遊経路となっている湿地 基準 9: 鳥類以外の湿地に依存する動物の種または亜種の個体群の個体数の 1% 以上を定期的に支えている湿地
②	『生物多様性の観点から重要度の高い湿地』 (環境省 HP、令和 7 年 5 月閲覧)に基づく重要度の高い湿地	基準 1: 湿原・塩性湿地、河川・湖沼、干潟・砂浜・マングローブ湿地、藻場、サンゴ 礁等の生態系のうち、生物の生育・生息地として典型的または相当の規模の面積を有している場合 基準 2: 希少種、固有種等が生育・生息している場合 基準 3: 多様な生物相を有している場合 (ただし、外来種を除く) 基準 4: 特定の種の個体群のうち、相当な割合の個体数が生育・生息する場合 基準 5: 生物の生活史の中で不可欠な地域 (採餌場、繁殖場等)である場合
③	『鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律』(平成 14 年 法律第 88 号) 『令和 6 年度愛知県鳥獣保護区等位置図』(令和 6 年 愛知県)	都道府県指定鳥獣保護区 国指定鳥獣保護区 特別: 特別保護地区 特指: 特別保護指定区域
④	『生物多様性保全の鍵になる重要な地域(KBA)』 (コンサベーション・インターナショナル・ジャパン HP、令和 7 年 5 月閲覧)	危機性: IUCN のレッドリストの地域絶滅危惧種 (CR、EN、VU) に分類された種が生息/生育する 非代替性: a) 限られた範囲にのみ分布している種 (RR) b) 広い範囲に分布するが特定の場所に集中している種 c) 世界的にみて個体が一時的に集中する重要な場所 d) 世界的にみて顕著な個体の繁殖地 e) バイオリージョンに限定される種群
⑤	『自然環境保全法』 (昭和 47 年 法律第 85 号) 『愛知県立自然公園条例』 (昭和 43 年 愛知県条例第 7 号) 『自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例』(昭和 48 年 愛知県条例第 3 号)	自然環境保全地域 県立自然公園 愛知県自然環境保全地域
⑥	『地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律』 (令和 6 年 法律第 18 号)	OECM: 保護地区以外で、生物多様性保全に資する地域 自然共生サイト: 民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域

調査区域における生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境を表 4.1-77 及び図 4.1-40 に示す。

表 4.1-77 生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境

番号	名称	所在地	カテゴリ	選定基準
1	南知多県立自然公園	知多市	県立自然公園	⑤ 『愛知県立自然公園条例』（昭和 43 年 愛知県条例第 7 号）
2	半田鳥獣保護区	半田市	鳥獣保護区（身近な鳥獣）	③ 『鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律』（平成 14 年 法律第 88 号）
3	佐布里池鳥獣保護区	知多市	鳥獣保護区（森林鳥獣）	
4	藤江小学校鳥獣保護区	東浦町	鳥獣保護区（身近な鳥獣）	② 『生物多様性の観点から重要度の高い湿地』（環境省 HP、令和 7 年 5 月閲覧）
5	尾張丘陵・知多半島地域湧水湿地群（板山高根湿地）	阿久比町	基準 2（希少種、固有種等が生育・生息している場合）	
6	知多半島グリーンベルト	知多市	自然共生サイト	⑥ 『地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律』（令和 6 年 法律第 18 号）

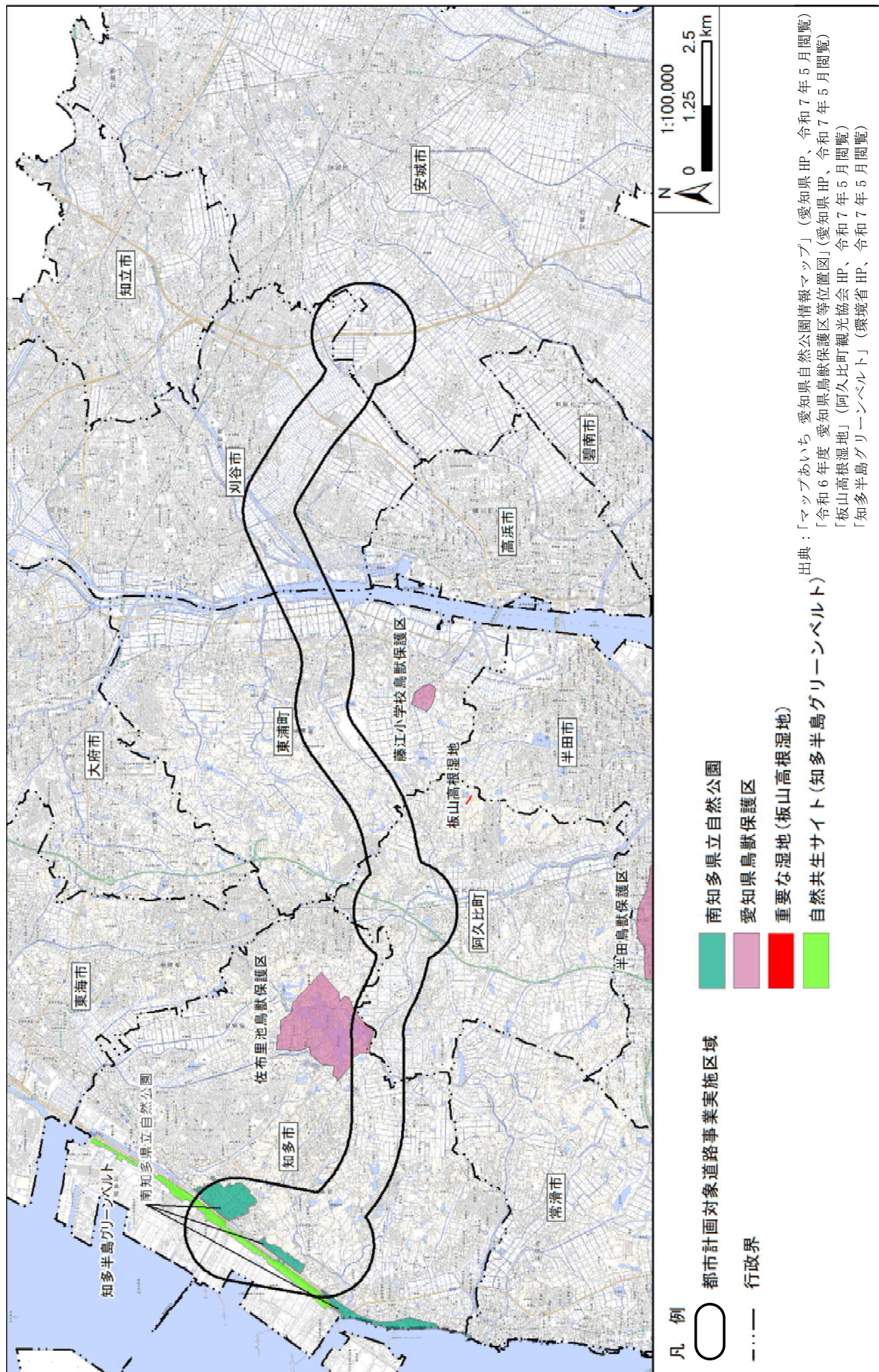


図 4.1-40 生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境

3) 生態系エリア

調査区域における生態系エリアを表 4.1-78 のとおり区分した。また、生態系エリア区分図を図 4.1-41 に示す。

調査区域には、調査区域西側（境川以西）に広がる「丘陵-農耕地・ため池」、調査区域東側（境川以東）に広がる「低地-水田主体」、佐布里池を中心とした「丘陵-佐布里池周辺」、知多半島臨海部に立地する工業地帯に位置する「低地-沿岸グリーンベルト」、境川水系を中心とした「低地-河川沿川」、西之口海岸が広がる「低地-海浜」が分布しており、その他「丘陵-樹木主体」及び「市街地」が市内全域に分布している。生態系エリア区分は計8区分となった。

このうち、各エリアについて注目すべき種を抽出することとした。なお、「低地-沿岸グリーンベルト」及び「市街地」には選定すべき注目種はいないと想定された。

表 4.1-78 生態系エリアの区分の概況

生態系エリア区分	注目種の選定対象
丘陵-樹木主体	○
丘陵-農耕地・ため池	○
丘陵-佐布里池周辺	○
低地-水田主体	○
低地-河川沿川	○
低地-沿岸グリーンベルト	×
低地-海浜	○
市街地	×

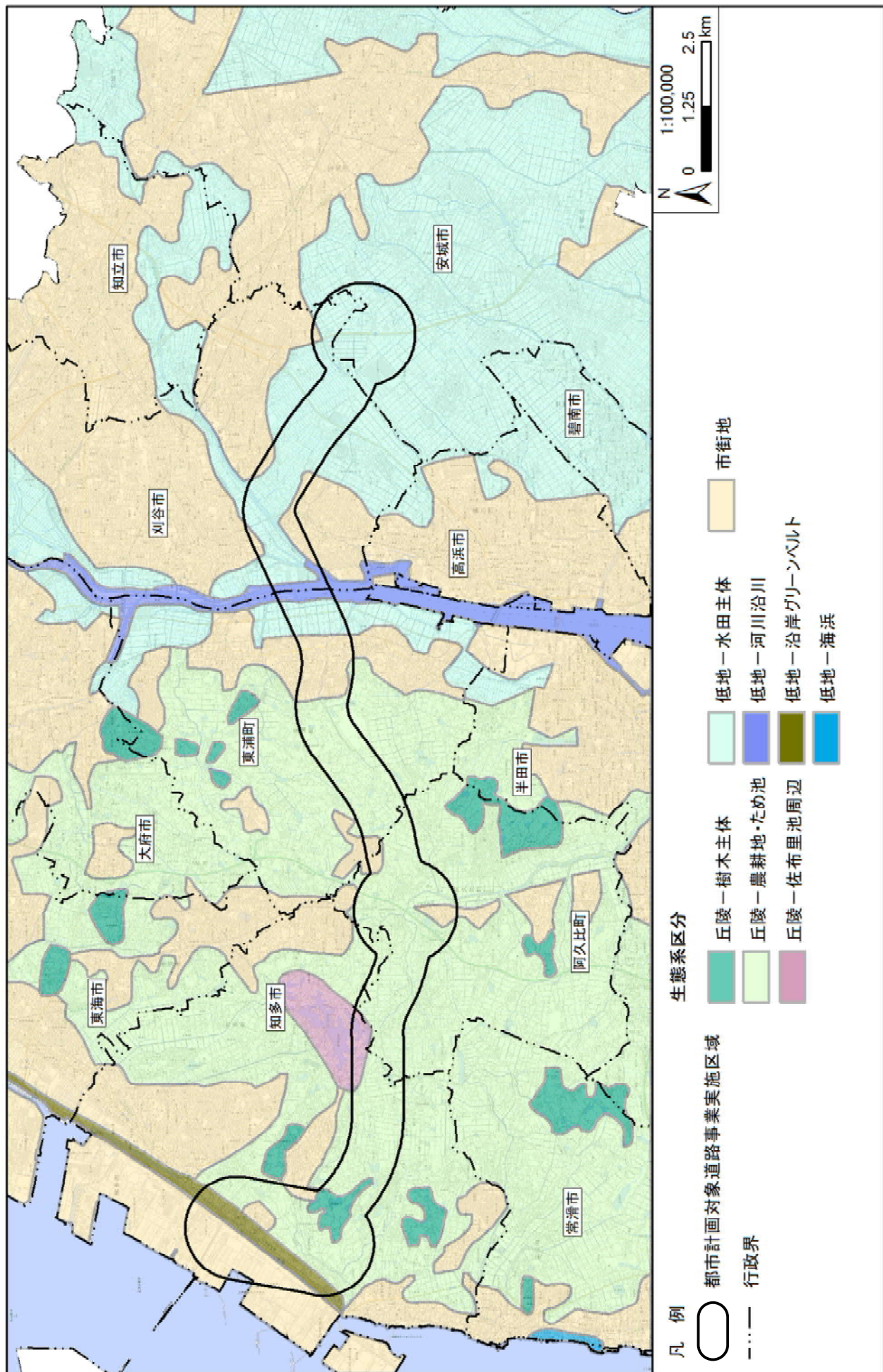


図 4.1-41 生態系エリア区分図

4) 主な動物相、植物相の状況

自然環境の生態系区分を基に、調査区域に生息又は生育が想定される代表的な動植物を表 4.1-79(1) (2) に示す。

表 4.1-79(1) 自然環境の類型区分と生息・生育が想定される動植物

生態系区分	主な生息・生育基盤	主な動物種	主な植物種
丘陵－ 樹林主体	ヤブコウジース ダジイ群集、シ イ・カシ二次 林、モチツツジ －アカマツ群 集、竹林等	アカネズミ、ホンドタヌキ、アナグマ、テン、キ ジバト、 <u>オオタカ</u> 、 <u>コゲラ</u> 、 <u>ヤマガラ</u> 、 <u>シジュウ</u> <u>カラ</u> 、 <u>ヒヨドリ</u> 、 <u>メジロ</u> 、 <u>キビタキ</u> 、 <u>カナヘビ</u> 、 <u>アオダイショウ</u> 、 <u>アズマヒキガエル</u> 、 <u>ニホンアマ</u> <u>ガエル</u> 、 <u>クロイトトンボ</u> 、 <u>シオカラトンボ</u> 、 <u>オニ</u> <u>ヤンマ</u> 、 <u>クマゼミ</u> 、 <u>アゲハ</u> 、 <u>モンキアゲハ</u> 、 <u>アオ</u> <u>スジアゲハ</u> 、 <u>ヒメジャノメ</u> 、 <u>ショウリョウバッ</u> <u>タ</u> 、 <u>アブラゼミ</u> 、 <u>ノコギリクワガタ</u> 、 <u>ヤマトアシ</u> <u>ナガバチ</u> 、 <u>カネコトタテグモ</u>	ベニシダ、モウソウ チク、アラカシ、マ ンリョウ、フユイチ ゴ、コ克蘭、ネジ キ、アカマツ、モチ ツツジ、リョウブ、 ヤマモモ、クロバイ
丘陵－ ため池・農 耕地	竹林、植栽樹群 地、ヨシクラ ス、ヒルムシロ クラス、果樹 園、茶畑、畑雑 草群落等	<u>コウベモグラ</u> 、 <u>ノウサギ</u> 、 <u>ハタネズミ</u> 、 <u>カヤネズ</u> <u>ミ</u> 、 <u>タヌキ</u> 、 <u>ホンドキツネ</u> 、 <u>カイツブリ</u> 、 <u>クイ</u> <u>ナ</u> 、 <u>ヒクイナ</u> 、 <u>バン</u> 、 <u>カルガモ</u> 、 <u>ダイサギ</u> 、 <u>アオ</u> <u>サギ</u> 、 <u>キジバト</u> 、 <u>ノスリ</u> 、 <u>カワセミ</u> 、 <u>モズ</u> 、 <u>ツバ</u> <u>メ</u> 、 <u>ヒヨドリ</u> 、 <u>ヒバリ</u> 、 <u>ウグイス</u> 、 <u>スズメ</u> 、 <u>カワ</u> <u>ラヒワ</u> 、 <u>ホオジロ</u> 、 <u>イシガメ</u> 、 <u>ミシシippアカミ</u> <u>ミガメ</u> 、 <u>カナヘビ</u> 、 <u>シマヘビ</u> 、 <u>ヤマカガシ</u> 、 <u>トウ</u> <u>キョウサンショウウオ</u> 、 <u>アカハライモリ</u> 、 <u>ニホン</u> <u>アマガエル</u> 、 <u>ニホンアカガエル</u> 、 <u>トノサマガエ</u> <u>ル</u> 、 <u>ナゴヤダルマガエル</u> 、 <u>ウシガエル</u> 、 <u>ヌマガエ</u> <u>ル</u> 、 <u>ギンブナ</u> 、 <u>オイカワ</u> 、 <u>タモロコ</u> 、 <u>モツゴ</u> 、 <u>ド</u> <u>ジョウ</u> 、 <u>ミナミメダカ</u> 、 <u>オオクチバス</u> 、 <u>ブルーギ</u> <u>ル</u> 、 <u>トウヨシノボリ</u> 、 <u>クロイトトンボ</u> 、 <u>シオカラ</u> <u>トンボ</u> 、 <u>オニヤンマ</u> 、 <u>ギンヤンマ</u> 、 <u>ハラビロトン</u> <u>ボ</u> 、 <u>コシアキトンボ</u> 、 <u>コオイムシ</u> 、 <u>ヒメタイコウ</u> <u>チ</u> 、 <u>クマゼミ</u> 、 <u>アゲハ</u> 、 <u>モンキアゲハ</u> 、 <u>アオスジ</u> <u>アゲハ</u> 、 <u>ヒメジャノメ</u> 、 <u>ショウリョウバッタ</u> 、 <u>ア</u> <u>ブラゼミ</u> 、 <u>ヤマトアシナガバチ</u>	シケシダ、イボタノ キ、メダケ、ウメモ ドキ、ササユリ、シ ョウジョウバカマ、 ノアザミ、キツネノ マゴ、 <u>ガガブタ</u> 、 <u>オ</u> <u>ニバス</u> 、 <u>ヌマガヤ</u>
丘陵－ 佐布里池周 辺	シイ・カシ二次 林、ケネザサー コナラ群集、竹 林、植栽樹群地 等	<u>コウベモグラ</u> 、 <u>アカネズミ</u> 、 <u>ホンドタヌキ</u> 、 <u>アナ</u> <u>グマ</u> 、 <u>カイツブリ</u> 、 <u>マガモ</u> 、 <u>カルガモ</u> 、 <u>コガモ</u> 、 <u>ダイサギ</u> 、 <u>アオサギ</u> 、 <u>ミサゴ</u> 、 <u>オオタカ</u> 、 <u>カワセ</u> <u>ミ</u> 、 <u>コゲラ</u> 、 <u>モズ</u> 、 <u>ヤマガラ</u> 、 <u>シジュウカラ</u> 、 <u>ヒ</u> <u>ヨドリ</u> 、 <u>ウグイス</u> 、 <u>メジロ</u> 、 <u>キビタキ</u> 、 <u>ホオジ</u> <u>ロ</u> 、 <u>アオジ</u> 、 <u>ミシシippアカミミガメ</u> 、 <u>ヤモリ</u> 、 <u>カナヘビ</u> 、 <u>アオダイショウ</u> 、 <u>ニホンアマガエル</u> 、 <u>ウシガエル</u> 、 <u>ギンブナ</u> 、 <u>タモロコ</u> 、 <u>モツゴ</u> 、 <u>ナマ</u> <u>ズ</u> 、 <u>オオクチバス</u> 、 <u>ブルーギル</u> 、 <u>トウヨシノボ</u> <u>リ</u> 、 <u>シオカラトンボ</u> 、 <u>オニヤンマ</u> 、 <u>ギンヤンマ</u> 、 <u>クマゼミ</u> 、 <u>アゲハ</u> 、 <u>モンキアゲハ</u> 、 <u>アオスジアゲ</u> <u>ハ</u> 、 <u>ヒメジャノメ</u> 、 <u>ショウリョウバッタ</u> 、 <u>アブラ</u> <u>ゼミ</u> 、 <u>ノコギリクワガタ</u> 、 <u>ヤマトアシナガバチ</u>	シイ類、カクレミ ノ、ヒサカキ、ヤブ ツバキ、コナラ、ア ベマキ、ヤシャブ シ、モウソウチク、 ベニシダ

注) 下線は注目すべき種・群集を示す

表 4.1-79 (2) 自然環境の類型区分と生息・生育が想定される動植物

生態系区分	主な生息・生育基盤	主な動物種	主な植物種
低地－水田地帯	竹林、ヨシクラス、畑雑草群落、水田雑草群落、路傍・空地雑草群落等	<u>コウベモグラ</u> 、 <u>ハタネズミ</u> 、 <u>ホンドタヌキ</u> 、 <u>ホンドキツネ</u> 、 <u>イタチ</u> 、 <u>ダイサギ</u> 、 <u>アオサギ</u> 、 <u>ケリ</u> 、 <u>ヒクイナ</u> 、 <u>タマシギ</u> 、 <u>ツバメ</u> 、 <u>カルガモ</u> 、 <u>モズ</u> 、 <u>ツバメ</u> 、 <u>ヒバリ</u> 、 <u>ムクドリ</u> 、 <u>スズメ</u> 、 <u>ハクセキレイ</u> 、 <u>カワラヒワ</u> 、 <u>カナヘビ</u> 、 <u>シマヘビ</u> 、 <u>ヤマカガシ</u> 、 <u>ニホンアマガエル</u> 、 <u>トノサマガエル</u> 、 <u>ナゴヤダルマガエル</u> 、 <u>ヌマガエル</u> 、 <u>ギンブナ</u> 、 <u>ドジョウ</u> 、 <u>ミナミメダカ</u> 、 <u>クロイトトンボ</u> 、 <u>シオカラトンボ</u> 、 <u>ギンヤンマ</u> 、 <u>アゲハ</u> 、 <u>モンキアゲハ</u> 、 <u>ショウリョウバッタ</u> 、 <u>アブラゼミ</u> 、 <u>コガムシ</u>	シケシダ、スズメノカタビラ、チガヤ、メダケ、ヨシ、セイバンモロコシ
低地－河川沿川	ヨシクラス、ツルヨシ群集、畑雑草群落、水田雑草群落等	<u>コウベモグラ</u> 、 <u>カヤネズミ</u> 、 <u>ホンドタヌキ</u> 、 <u>ヌートリア</u> 、 <u>イタチ</u> 、 <u>カワウ</u> 、 <u>ミサゴ</u> 、 <u>ダイサギ</u> 、 <u>アオサギ</u> 、 <u>キアシシギ</u> 、 <u>セイタカシギ</u> 、 <u>ハマシギ</u> 、 <u>マガモ</u> 、 <u>カルガモ</u> 、 <u>コガモ</u> 、 <u>カイツブリ</u> 、 <u>カワセミ</u> 、 <u>ヒバリ</u> 、 <u>ハクセキレイ</u> 、 <u>アオジ</u> 、 <u>ミシシipp</u> 、 <u>アカミミガメ</u> 、 <u>スッポン</u> 、 <u>カナヘビ</u> 、 <u>ニホンアマガエル</u> 、 <u>ウシガエル</u> 、 <u>ヌマガエル</u> 、 <u>ニホンウナギ</u> 、 <u>ギンブナ</u> 、 <u>ボラ</u> 、 <u>マハゼ</u> 、 <u>カワアナゴ</u> 、 <u>クロイトトンボ</u> 、 <u>シオカラトンボ</u> 、 <u>ギンヤンマ</u> 、 <u>ショウリョウバッタ</u> 、 <u>ソトオリガイ</u> 、 <u>カワザンショウガイ</u>	ヨシ、オニグルミ、エノキ、セイタカアワダチソウ、オオブタクサ
低地－近海地域	社叢林、竹林、植栽樹群地、ヨシクラス、畑雑草群落、路傍・空地雑草群落、公園等	<u>コウベモグラ</u> 、 <u>ホンドタヌキ</u> 、 <u>キジバト</u> 、 <u>ダイサギ</u> 、 <u>アオサギ</u> 、 <u>ミサゴ</u> 、 <u>モズ</u> 、 <u>ヒヨドリ</u> 、 <u>ウグイス</u> 、 <u>メジロ</u> 、 <u>ムクドリ</u> 、 <u>スズメ</u> 、 <u>ハクセキレイ</u> 、 <u>ヤモリ</u> 、 <u>カナヘビ</u> 、 <u>アオダイショウ</u> 、 <u>ニホンアマガエル</u> 、 <u>クロイトトンボ</u> 、 <u>シオカラトンボ</u> 、 <u>ギンヤンマ</u> 、 <u>クマゼミ</u> 、 <u>アゲハ</u> 、 <u>モンキアゲハ</u> 、 <u>アオスジアゲハ</u> 、 <u>ショウリョウバッタ</u> 、 <u>アブラゼミ</u> 、 <u>ヤマトアシナガバチ</u>	メダケ、アカメガシワ、マテバシイ、ネズミモチ、トベラ、ウバメガシ、イブキ、キョウチクトウ

注) 下線は注目すべき種・群集を示す

5) 注目すべき種・群集の候補の抽出

調査区域に生息・生育すると想定される動植物のうち上位性、典型性、特殊性の視点から注目される動植物の種または生物群集（以下、「注目種・群集」とします。）を抽出した。

注目種・群集の抽出視点を表 4.1-80 に示す。

自然環境の類型区分に従って選定した注目種・群集を表 4.1-81 に示す。

表 4.1-80 注目種・群集の抽出視点

抽出基準	注目種・群集の抽出視点
上位性	・生態系の上位に位置する動物が対象 ・上位性の視点から抽出される指標種・群集の例として、ワシ・タカ等の猛禽類やホンドキツネ、ツキノワグマ等の中・大型哺乳類等があげられる
典型性	・生態系の特徴を典型的に表す種が対象 ・調査区域に優占する植物種または植物群落、それらを捕食する動物（一次消費者程度）、個体数が多い動物などが対象
特殊性	・生態系において特殊な環境であることを示す指標となる種が対象 ・相対的に分布範囲が狭い環境、または質的に特殊な環境に生息・生育する動植物が対象

表 4.1-81 地域の注目種・群集

区分	分類	名称	分布が想定される生態系区分					
			丘陵－ 樹林主体	丘陵－ ため池・ 農耕地	丘陵－ 佐布里池 周辺	低地－ 水田地帯	低地－ 河川沿川	低地－ 近海地域
上位性	哺乳類	ホンドキツネ		●		●		
		テン	●					
	鳥類	オオタカ	●		●			
		ミサゴ			●		●	●
		ダイサギ		●	●	●	●	●
		アオサギ		●	●	●	●	●
典型性	哺乳類	コウベモグラ		●	●	●	●	●
		ホンドタヌキ	●	●	●	●	●	●
	鳥類	ヤマガラ	●					
		カルガモ		●	●	●	●	
		カイツブリ		●	●		●	
		ヒバリ		●		●	●	
	両生類	ニホンアマガエル	●	●	●	●	●	●
	爬虫類	ニホンカナヘビ	●	●	●	●	●	●
	魚類	ギンブナ		●	●	●	●	
	昆虫類	アゲハ	●	●	●	●		●
		ヒメジャノメ	●	●	●			
		ショウリョウバッタ	●	●	●	●	●	●
		アブラゼミ	●	●	●	●		●
		シオカラトンボ	●	●	●	●	●	●
		ノコギリクワガタ	●		●			
		ハラビロトンボ		●				
		コシアキトンボ		●				
特殊性	干潟の鳥類	セイタカシギ					●	
		ハマシギ					●	
	干潟の貝類	ソトオリガイ					●	
		カワザンショウガイ					●	
	ため池の 植物	ガガブタ		●				
		オニバス		●				
	湿地性植物	ヌマガヤ		●				
	ため池の 鳥類	バン		●				
		ヒクイナ		●		●		

4.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況

(1) 景観の状況

1) 主要な眺望点

調査区域における主要な眺望点の分布状況を表 4.1-82 及び図 4.1-42 に示す。

表 4.1-82 主要な眺望点

番号	市町名	眺望点	概要	選定理由※
1	知多市	七曲公園	子ども広場や展望広場、テニスコート等があり、スポーツや憩いの場として親しまれている。	A
2		知多墓園（旭東公園）	墓地を併設した公園。伊勢湾を望むことができる展望塔や、しょうぶ園、散策路等がある。	A
3		大草公園（大草城跡）	伊勢湾に面した標高 10 メートル位の高台にある。天守閣を模した展望台からは伊勢湾を一望できる。	A・C
4		佐布里 緑と花のふれあい公園	佐布里池のほとりに広がる自然や景観を活かした公園。物見やぐらが設置されている。	A・D
5	常滑市	前山ダム公園	雑木林内を通る散策路と展望広場があり、水辺を観察することができる。	A
6		常滑公園	丘陵地に位置し、伊勢湾を一望できる。	A
7		城山公園	展望台からは、伊勢湾や鈴鹿山麓が一望できる。	A・C
8	東海市	中ノ池公園	池周辺をぐるりと囲む散策路や展望台がある。	A
9		加木屋緑地	展望台からは、加木屋町東部の街並みや、あいち健康の森、伊勢湾岸道路などを見る事ができる。天気の良い日には、北東に御嶽山、北アルプスなどが望める。	A
10		知北平和公園 展望台	桜並木の散策路を上ると展望台がある。	A
11	大府市	桃山公園	風車を模した高さ 10m の展望台があり、晴れた日には衣浦湾、御岳山などを望むことができる	A
12		石ヶ瀬川堤防	遠景に吉川熊野神社鎮守の森が見える。春は菜の花や桜が一望できる。	B・C
13	東浦町	三丁公園	いやしの展望広場で、正月には初日の出、夏には花火が見える。	A
14	半田市	矢勝川堤	JR や名鉄のハイキングコースになっている。秋には、矢勝川堤 2km にわたり彼岸花が咲く。	B
15	高浜市	大山緑地	衣浦湾や市街地を見渡せる高台に位置する。	A・C
16	安城市	安祥城址公園	安祥城の跡地である。雅楽の笙を模したモニュメントの塔からは田園風景を眺望することができる。	A・C
17		堀内公園	高さ 35m の観覧車があり、安城市を一望できる。	A

備考)

※「主要な眺望点」は「不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所」として以下の理由から選定した。

A：地形図及び地方公共団体等の観光便覧等の資料に展望地、展望台としてあげられているもの

B：キャンプ場、ハイキングコース、自然歩道等の野外レクリエーション地で眺望の良い場所

C：集落周辺の眺望の良い場所、寺社等地域に密接した眺望の良い場所

D：文化財保護法、条例で指定された自然的構成要素と一体をなす名勝のうち展望地点

出典：「美しい愛知づくり景観資源 600 選」（愛知県 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

「安城市観光協会」（安城市観光協会 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

「Horiuchipark 花とみどりとメルヘンの里」（堀内公園 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

「常滑市 公園」（常滑市 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

「東海市 公園」（東海市 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

「観て・学んで・遊ぼう 東海市観光」（東海市観光協会 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

「知北平和公園組合」（知北平和公園組合 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

「知多市観光ガイド」（知多市観光協会 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

「暮らしの情報ちた 公園」（知多市 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

「西三河ぐるっとナビ」（西三河広域観光推進協議会 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

「東浦町 公園」（東浦町 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

2) 主要な景観資源

調査区域における主要な景観資源の分布状況を表 4.1-83(1)～(3)及び図 4.1-42 に示す。

表 4.1-83(1) 主要な景観資源

番号	市町名	景観資源	概要	選定理由※
1	知多市	雪の降った古い街並	旧道沿いの家は江戸時代からの街並を作っており、雪が降った時の街並は一段と美しい。	b
2		古い街並	江戸時代からの建物が残る岡田の西島は桜の名所でもあり、古い江戸時代の家と華やかな桜の対比が美しい。	b
3		春満開	岡田地区の桜では、一番景観の良い場所。一番美しい桜並木で木の形も立派で花に勢いがある。	b
4	阿久比町	田園風景	阿久比町の中央を南北に走る名鉄電車や阿久比川の両側に広がる田園がのどかで田舎の風景を思わせる。	b
5	大府市	石ヶ瀬川	石ヶ瀬川堤防には、4 月に一面に黄色いカラシナのじゅうたんが敷かれる。散策やジョギングに利用される。	b
6		石ヶ瀬川と吉川熊野神社鎮守の森、吉川熊野神社と鎮守の森	四季を通して緑豊かな景観を形成し、周辺の田園とともにのどかな風景。石ヶ瀬川堤防からは、石ヶ瀬川吉川熊野神社鎮守の森が見え、春には菜の花や桜が一望できる。	b
7		大府駅西口ロータリー	手前に駅ロータリー、その奥に続く道。遠景の家並み。	b
8		大府駅西と工場	大府駅の西側は工業地域となっており、緑化整備された工場が建っている。	b
9		神様池全景	天保年間以前から農家の水がめとして大切に利用される。	b
10		神様池と雑木林	農業用水としてたくわえられた水辺が熊野神社の森と一体となって吉田地域の緑の風景を形成している。	b
11		あいち健康の森公園	四季折々の植物を観察でき、青空に映えるメタセコイヤやユリノキ、秋には美しく紅葉する。	b
12		家並みと畑、雑木林	田園都市としてのどかな景色を形成している。ゆるやかな丘陵地形が特徴な地域。	b
13		大倉公園	大正時代には大倉氏の別邸で、威風堂々とした門構えと庭園の美しさが魅力。春には約 2,800 本のツツジが咲き乱れる。	b
14		七社神社鎮守の森と畑（キャベツ）	おだやかな地形にそって広がる畑と遠くに見る雑木林の眺望。	b
15		桃山公園	高さ約 17m のモダンデザインの風車があり、夜はライトアップで一段と華麗な大府のランドマークとなっている。公園に続く坂道の桜並木に風車のモニュメントが映える。	b
16	東浦町	於大公園	於大公園は、自然の地形を生かした総合公園で、四季折々の花が咲き誇り、良好な景観を有している。また、雪が降った公園も趣深い景観として地域の人々に親しまれている。	b

※「主要な景観資源」は以下の理由から選定した。

a：文化財保護法、条例で指定された自然的構成要素と一体をなす名勝

b：地方公共団体の条例で指定されている自然景観資源、市町村要覧・観光関連資料・地方公共団体により選定された景観 100 選等で記載されている自然景観資源

出典：「文化財ナビ愛知」（愛知県 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

「美しい愛知づくり景観資源 600 選」（愛知県 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

表 4.1-83(2) 主要な景観資源

番号	市町名	景観資源	概要	選定理由※
17	半田市	亀崎の“せこ”	海辺が山に向かって少しせりあがった地形の起伏に沿って、曲がりくねった網の目のような路地と暮らしが残っている。	b
18		童話の里を彩る三百万本の彼岸花	秋には、矢勝川堤 2km にわたり彼岸花が咲き、新美南吉の童話ごんぎつねに描かれたような幻想的な風景が広がる。	b
19		南吉の養家	新美南吉の養家は、のどかな田園風景が広がるこんもりとした森の中にある。近世後期の建築とされる四つ建てで、浅葺き屋根を残し、裏には土蔵がヤマモモの大きな木を挟んで建っている。半田市指定有形文化財に指定されている。	a・b
20		新美南吉記念館	芝生で覆われた波打つような屋根のシルエットは、周囲の地形と連続することで、南吉が童話に描いた知多半島の自然・風景とみごとな調和をみせている。記念館に隣接した「童話の森」には遊歩道があり、南吉文学に描かれた里山の自然の中をのんびりと散策できる。	b
21	高浜市	大山緑地	春には、薄墨桜や約 1,000 本のソメイヨシノが咲く。桜の開花に合わせてライトアップが行われる。	b
22		高浜市やきものの里かわら美術館	千石船をイメージした幾何学的な屋根の美術館。高浜市のシンボル。	b
23		土管坂	かつて主力商品であった土管を利用した民家の修景。坂の途中には大型土管や土管の土留が残る。	b
24		高平公園（ドラゴンパーク）	地元に伝わる竜の伝説に基づいて作られた公園。竜のモニュメントが、地場産業の三州瓦で製作されている。	b
25		人形小路	県無形文化財「吉浜細工人形」が並ぶ全長約 800m の散策路。	b
26		森前公園	海を表現した瓦庭がある。復元「だるま窯」、指定文化財「塩焼瓦窯」が瓦づくりの歩みを物語っている。	b
27		稗田川	稗田川は、高浜市において代表的な河川であり、貴重な河川・水辺空間を形成しています。稗田川沿いは自然の草花や小動物が生息する緑のベルトとなっており、周辺住民から親しまれている水辺スポットとなっています。その豊かな自然の風景を中心に、やきものを取り入れた整備がされています。稗田川沿いの四季を感じ人と生物が共存できる川縁の景観づくりがされています。	b
28	刈谷市	亀城公園	亀城公園は、刈谷城の跡地として、堀跡をいかした整備が施された。春には桜の名所として市内外から多くの人々が訪れ、堀跡の池を取り囲むように咲き誇る桜の風景は壮観。	b
29		葦原で自然がいっぱい	車で一瞬にして通り過ぎてしまう風景が、のんびり歩いたりすると色々な生き物に出会える貴重な場所であると思うのでこのまま残して欲しいです。自然が残っている場所、魚や鳥、いろんな生き物が住む所。葦原のおかげで汚水も浄化されて魚がいっぱいはねて、子どもに触れてもらって環境を考えてもらいたい。近江八幡水郷めぐりみたいになりたいと思います。そして川舟で川遊びが出来たら良いなあー。	b

※「主要な景観資源」は以下の理由から選定した。

a：文化財保護法、条例で指定された自然的構成要素と一体をなす名勝

b：地方公共団体の条例で指定されている自然景観資源、市町村要覧・観光関連資料・地方公共団体により選定された景観 100 選等で記載されている自然景観資源

出典：「文化財ナビ愛知」（愛知県 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

「美しい愛知づくり景観資源 600 選」（愛知県 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

表 4.1-83(3) 主要な景観資源

番号	市町名	景観資源	概要	選定理由※
30	知立市	公園通	歩行者専用道路。彫刻が通りの出入り口におかれ、通りの顔となっている。文化会館～知立駅～リリオホールで文化芸術に触れあえ、地域に溶け込んだ景観。	b
31		弘法山遍照院	「見返り弘法大師」をまつる。毎月旧暦の21日の命日は、300以上の露店が軒を連ね、遠方から大勢の人々で賑わう。	b
32		知立の東海道松並木	歴史を感じる。大名行列が目にかぶ。	a・b
33		野外彫刻プロムナード	彫刻と文化会館、彫刻と田畑風景との四季を通じた美しい景色。夏は青々とした田んぼを背景にした景観、秋は黄金色の稲の背景と作品との融合した景観等、季節により変わる。	b
34	碧南市	西端旧集落の「坂道」「切り通し」「帯状の緑地」	西端の旧集落は、水害を避ける高台部分に密集している。そのため、集落を出入りする道は「坂道」になっており、集落のあちこちに露地が斜面に突き当たって出来た「切り通し」がある。集落を囲む斜面地は「帯状の緑地」として残っており、地形と人の営みが生んだ独特の景観を形成している。	b
35		無我苑	哲学者伊藤証信が、森信三、武者小路実篤、与謝野鉄幹昌子夫妻、藤井達吉らの支援を受けて完成させた。碧南の重要な文化的資源であり、整備された施設や庭園等は市民に親しまれている。	b
36	安城市	デンパーク	自然豊かなデンマークの町並みを再現した総合公園。一年を通して、約3300種30万株もの四季の花々を楽しめる。	b
37		丈山苑	石川丈山が京都一乗寺に建てた詩仙堂を、生誕の和泉町に再現した空間。唐様庭園、回遊式池泉庭園、枯山水庭園を組み合わせた本格的な庭園がある。	b
38		作野四季の道	安城作野土地区画整理事業により、緑道として整備された遊歩道。四季折々の樹木が植えられており、地域住民が四季を感じ取れる道となっている。	b

※「主要な景観資源」は以下の理由から選定した。

a：文化財保護法、条例で指定された自然的構成要素と一体をなす名勝

b：地方公共団体の条例で指定されている自然景観資源、市町村要覧・観光関連資料・地方公共団体により選定された景観100選等で記載されている自然景観資源

出典：「文化財ナビ愛知」（愛知県HP、令和7年5月閲覧）

「美しい愛知づくり景観資源600選」（愛知県HP、令和7年5月閲覧）

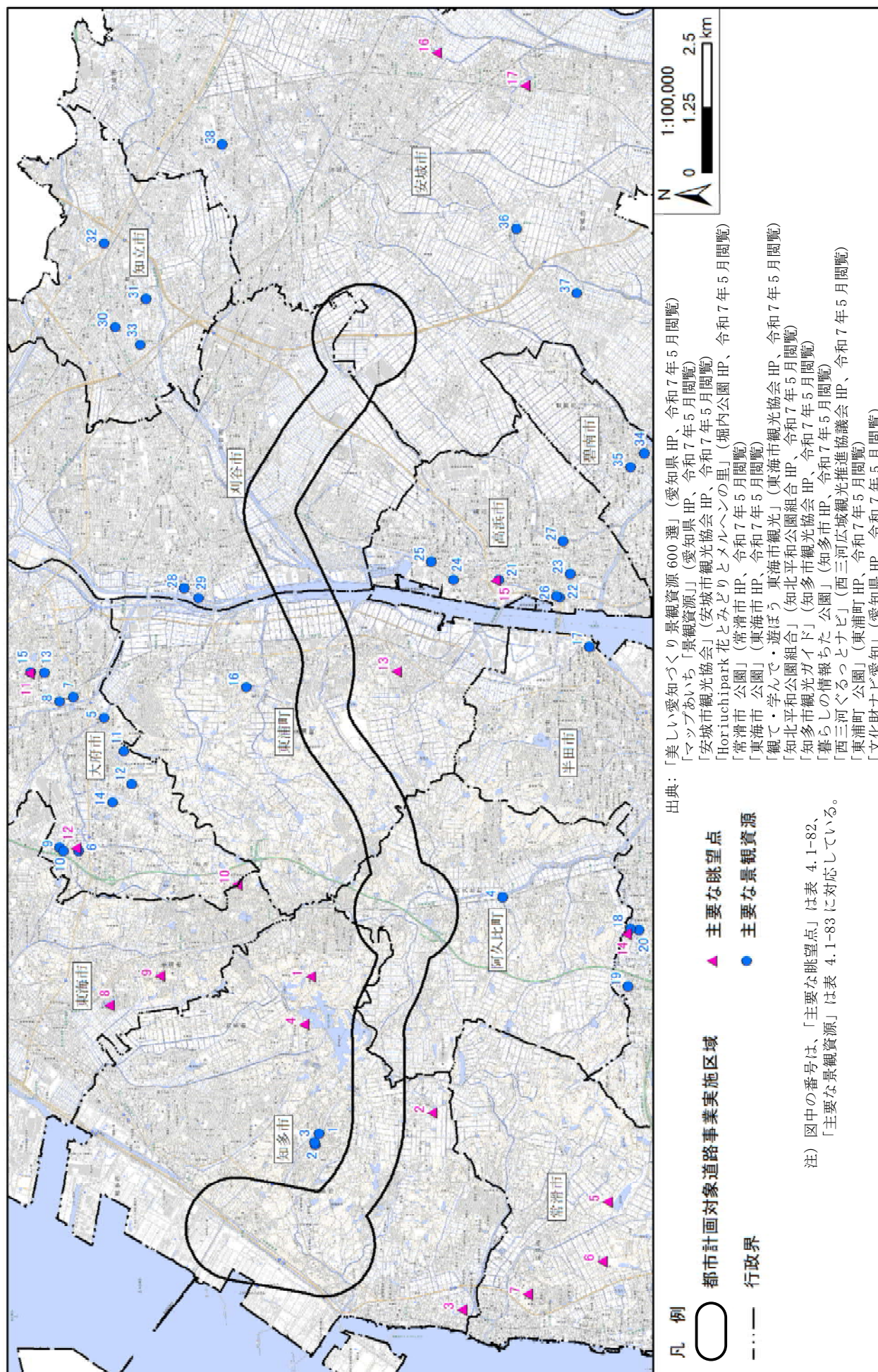


図 4.1-42 主要な眺望点及び主要な景観資源位置図